

20170928@新潟グランドホテル

第18回新潟技調講演会

新潟湊の繁栄と開港の意義

新潟市歴史博物館 伊東祐之

はじめに

今日の話

- 江戸時代の新潟湊はどんな様子だったのか。
- 新潟はどのように開港したのか。
- 開港によって新潟町はどのように変わったのか。



文政六年八月

1 湊町新潟の役割

①日本海物流の拠点 年間2000～3000艘が入船

「(新潟は)金銀融通致し候は壱ケ年何百両ニ可有之哉難計、都て家居立派ニて壱万軒余有之...諸国より入津之船乗共滞船中は旅籠屋ニ逗留致し、遊女・女芸者等買揚、其外諸国より荷物出買之商人とも是又同様ニ付、所之利潤ニ相成候間、越後一国は勿論北国筋ニも右様繁華之地は有之間敷と申程ニ候」

1 湊町新潟の役割

①日本海物流の拠点

☆江戸・大坂・蝦夷地など全国の湊を結ぶ
拠点港としての新潟湊
全国各地の特産物が集散する



額主
市馬次郎吉正亮

市馬次郎吉正亮

1 湊町新潟の役割

①日本海物流の拠点

※廻米船(賃積み)と廻船(買積み)

○廻米船

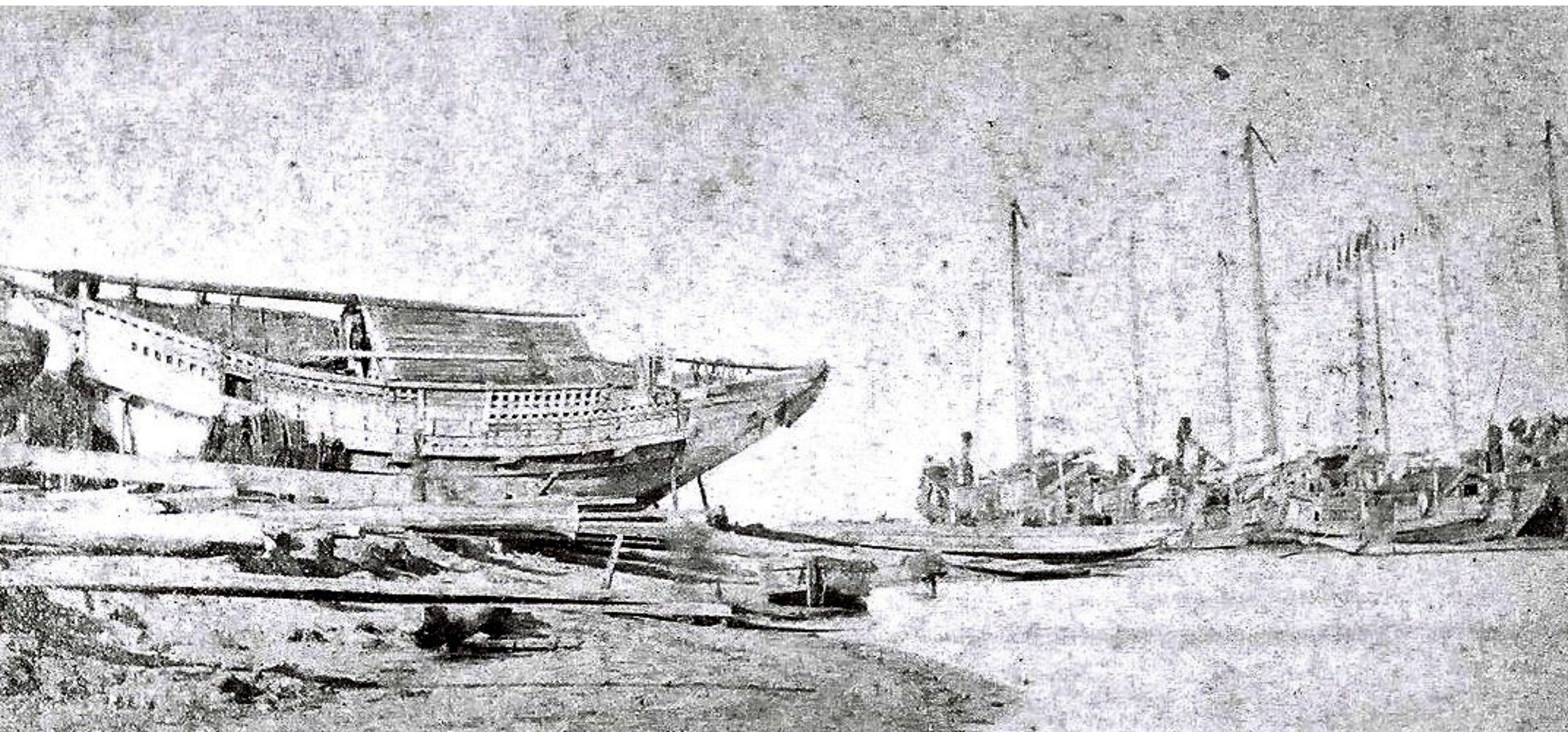
年貢米などを領主や商人に頼まれて運賃をもらって輸送

大型のベザイ船(千石船)で一度に大量に運ぶ 航海数は少ない

○廻船＝「北前船」 小型のベザイ船

船頭が商いをする船

—遠隔地の価格差を利用してもうける 湊・湊を回って商売



高貴仕地目錄

純一初八拾年

目方... 拾年... 拾年... 拾年...

代金... 圓... 拾... 銀... 兩

右... 圓... 拾... 銀... 兩

合... 圓... 拾... 銀... 兩

右... 通... 拾... 銀... 兩

代... 圓... 拾... 銀... 兩

無... 拾... 銀... 兩

明治九年

六月

大塩國増光郡

小林吉三郎

幸運九勳殿

1 湊町新潟の役割

①日本海物流の拠点

☆沿岸航路や内水面水運で

越後・佐渡の町村と結ばれた新潟湊

ヒラタ、長船と小廻し

物流の地域市場の中核としての新潟湊

⇒越後・佐渡の町や村の生産・消費地、地域市場と全国市場とをつなぐ拠点となる湊

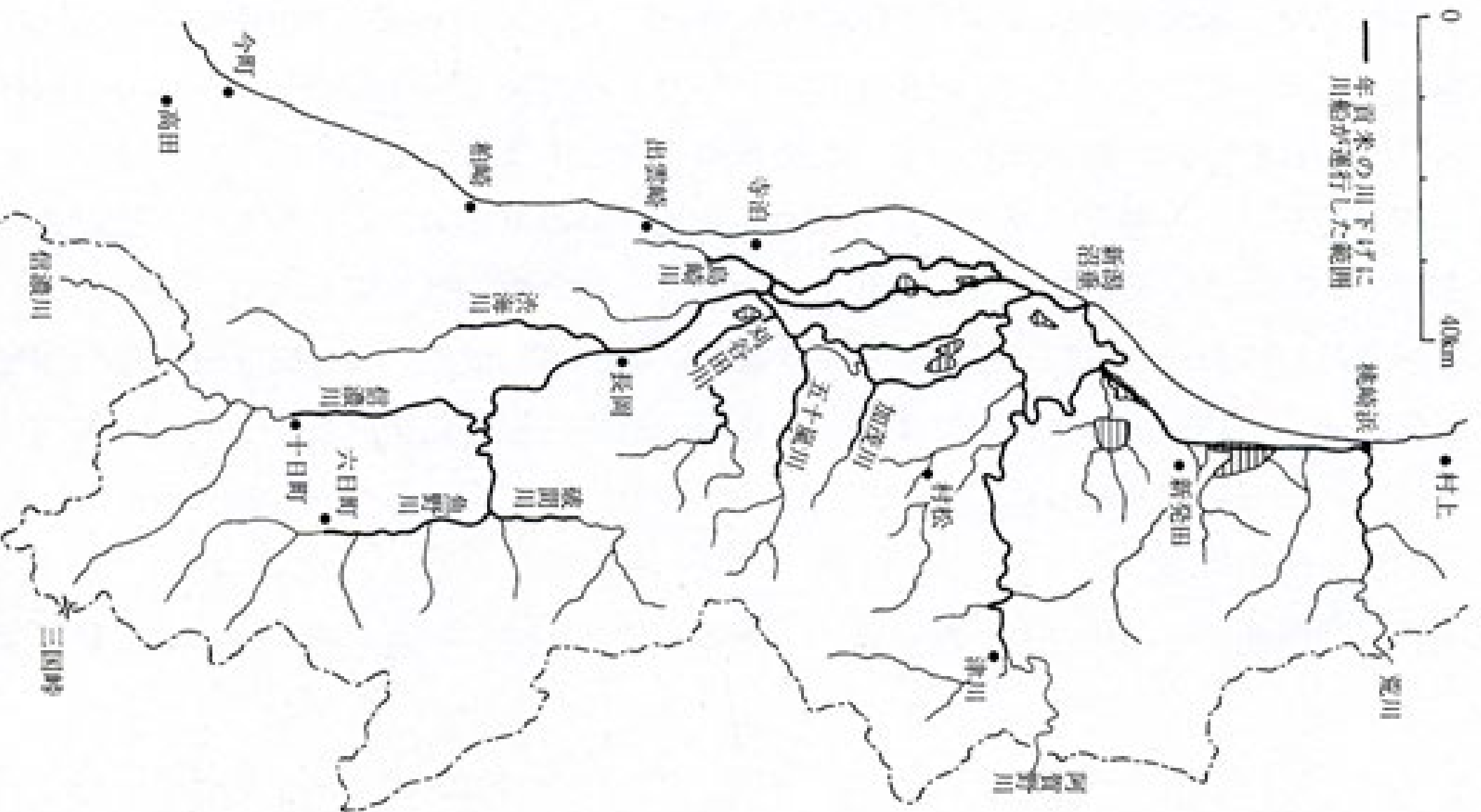


図17 江戸時代初期の阿賀野川・信濃川を中心とした
水系 「新潟県史」通史編3 所収図から作成



1 湊町新潟の役割

①日本海物流の拠点

☆越後・佐渡の村々が支える新潟湊

- 新潟湊の最大の商品は米—生産する農民や流通させる地主
- 新潟湊から供給される商品を原料として生産する、あるいは消費する

1 湊町新潟の役割

②商品を作り出す職人の町

- 各地から集まる原材料から
商品を作り出して（付加価値を付けて）
移出する

1 湊町新潟の役割

②商品を作り出す職人の町

- ・イナワラ(蒲原)＋表(中国・九州)→畳(蝦夷地)
- ・木材(会津・南蒲)
 - 下駄・建具・塗物(蝦夷地・西日本)
- ・鉄(山陰)→鍋・刃物(越後各地)

※流通を支える船大工



1 湊町新潟の役割

③流通を助ける商人・労働者の町

- 滞在中の船頭の面倒を見て、積荷の売買を仲介し、資金を融通する廻船問屋
 - ※廻船問屋は入港する廻船と独占的に取引
- 近在から商品を集める一蔵宿・在郷宿（米穀商）
- 新潟から商品を近在へ売る卸商一荒物屋（石・鉄・塩・砂糖）、呉服商、瀬戸物屋

1 湊町新潟の役割

③流通を助ける商人・労働者の町

- ・滞在する船員をもてなす一料理屋・川売・遊女
- ・荷物を運搬する

一舢(はしけ)・小揚・丁持・船乗り・船大工

⇒「湊あつての新潟」

※湊の障害となるようなことは許さない
分水路への反対、湊の独占

2 湊町新潟の特色

①武士のいない町

幕末で2万5000人の人口

- 新潟町は長岡藩の湊町
- 新潟町奉行2名が在番
- 奉行所は三越・NEXTの場所

2 湊町新潟の特色

①武士のいない町

- 新潟町会所
- 町役人（検断・町老・町代）による行政組織
- 町会所が実質的に統治

「都て同所（新潟）仕置は勿論他所引合之事ニても右検断三人ニて取計、町奉行は名目のみ」

2 湊町新潟の特色

②もてなす文化

- 廻船が新潟で商売したいと思ってもらうことが大事
- リピーターが町の経済を支える

鶴揚樓
夜宴



2 湊町新潟の特色

③杉と男の子は育たない

- 商品が集散することで利が生まれる 仲(すあい)
- 企業心・冒険心を持たない新潟商人

「商人なども目のさき少しばかりの利にまよひ、東京横浜などの様に仲ヶ間を組て大きな仕事をなす様ので簡はなし」

- 新陳代謝の激しい新潟商人

上流・在郷から来て成功する商人たち

2 湊町新潟の特色

④柳と女はよく育つ

- 独立心の強い女性

「金銭の貯へさへあれば、女にても一家をなすとも心驕りとり、離別を請ても恥とも憂ともなさざる風儀あり」

- セックスワークを差別しない

「(茶汲女・洗濯女)いたさせ候を恥辱とも不存...人も又氣之毒とも不思」「男子ノ配偶ヲ撰ムヤ嘗テ妓ト為ラサル女子ハ其身修マラストシテ之ト結婚スルヲ好マスト云ヘリ」

営業地域	芸妓 人	歌舞遊女 人	遊女 人	貸座敷 軒
古町通5・6番町	15	20	52	51
西堀前通5番町			80	33
古町通・西堀前通8番町	9		31	62
古町通・西堀前通9番町	11	33	51	70
毘沙門町	4		14	1
横七番町通	16	10	45	27
合 計	55	114	273	244

表25 明治6年4月の貸座敷・遊女等税金納入者数 「改革叢書」(新潟町会所文書 新潟市郷土資料館所蔵) から作成 歌舞遊女の合計数と税金額の積算は合致するので、歌舞遊女の内訳に脱漏がある



魚和又世菜和
運國生婦人

3 開港場新潟

①安政の五か国条約（修好通商条約）と新潟

- 天保改革のなかで上知された新潟
- 抜け荷を理由に海防のために幕府領になる
- 新潟奉行の設置 初代川村修就
台場の設置 砲術訓練

3 開港場新潟

①安政の五か国条約と新潟

- 外国から日本海側の開港場を求められ
幕府は新潟を提案（幕府領・京や江戸と距離・繁栄）
- 仮の開港 「若し新潟港を開き難き事あらは其代りとして
同所前後に於て一港を別に撰ふへし」
- 安政6年 外国船の調査
— 浅く危険な河口湊、
北西からの風波を遮るものがない
⇒ 新潟開港中止申し入れ

3 開港場新潟

②新潟開港

- 慶応3 外国は佐渡夷港を補助港として開港することを条件に新潟を開港場にすることに同意
- 慶応4年3月9日(1868年4月1日)の開港を決定
- 戊辰戦争のため新政府は開港を延期
 - ※奥羽越列藩同盟軍は期限通り開港したとして、
外国と貿易 武器商人エドワード・スネル
- 明治元年11月19日(1869年1月1日)新潟開港



3 開港場新潟

③明治以降の新潟港

- 貿易船はわずか 貿易なしの年も

「新潟ノ港（略）其实開港ノ名有リテ本ノ開港場ニ非ルハ彼我皆弁知スル所ナリ」（明治2年6月）「明治十一年外国貿易ノ状況...近年ニ至ルマテ依然トシテ旧時ノ体面ヲ存シ、恰モ不開港場ニ異ナラサルカ如キ」

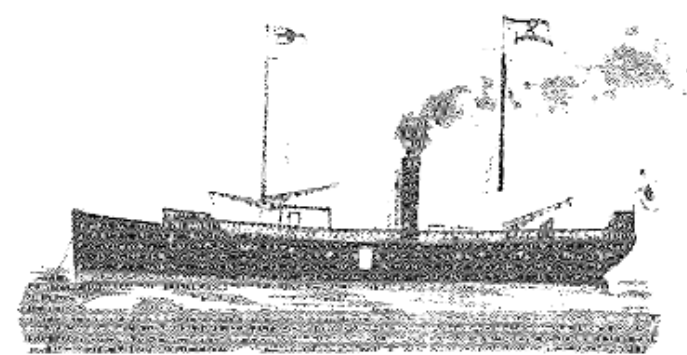
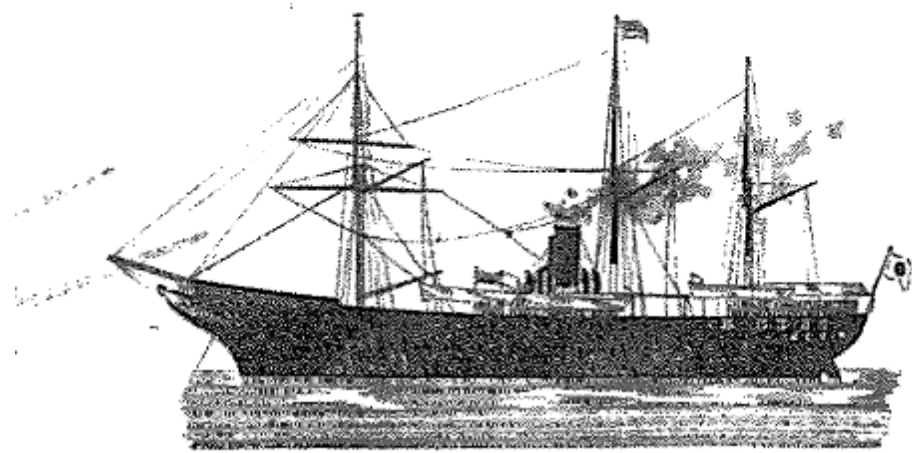
- 新潟町の人々は港湾施設の未整備が原因という認識→築港の請願を繰り返す

年	輸出額	主な輸出品額	輸入額	主な輸入品額	入港外国船数
	円	円	円	円	隻
明治 2	12,380	蚕卵紙 11,894	2,123	ライフル・ピストル 881	18
3	6,128	蚕卵紙 4,943	15,904	支那油 8,100	20
4			3,388	砂糖 3,388	4
5	3,359	棒銅 3,166			1
6	452				3
7	49		8,850	繰綿 8,850	5
8	404		20,260	砂糖 20,259	2
9			1,470	金巾 1,250	-
10	6,000	米 6,000	62		3
11	583,960	米 582,599	7,810	窓ガラス 3,000	16
12	47,675	米 47,302	630		1
13	64		339		-
14			891		-
15	568				-
16	105		1,401	鯨肉 1,125	1
17	69,847	米 69,744			2
18					-
19					-
20	96				-
21	17				-

表39 明治前期の新潟港の外国貿易の推移 円未満は四捨五入 『新潟税関沿革史』から作成

3 開港場新潟

- ③明治以降の新潟港
- 明治以降も三菱汽船・日本郵船の寄港地として全国市場とつながる
- 廻船は主に西日本—新潟、新潟—北海道間で活動。ただし次第に買い積みから賃積みに
- あらたに蒸気船が地域内舟運の担い手として登場し、定期航路を実現
- ただし、鉄道の開通によって米輸送の需要が激減し、流通体制は編成替えとなる



戴本橋黒き年火筒
 内車汽船
 噸數三千三百積
 船艙九名
 越佐漁船會社所有船
 船長松田次作乘
 乘組九名

日本郵船會社所有船
 三年橋黒き年火筒
 内車鉄製長汽船
 噸數三千三百積
 船艙九名
 船長洋人
 事務長松村會之
 乗組七輪五人自升國人七名
 積貨無之
 船客北海通川島田兵

3 開港場新潟

③明治以降の新潟港

- 都市新潟の精神的な拠り所としての「開港5港の1港」

新潟市の市章



4 県都新潟

①開港と新潟県の誕生

- 新政府の開港場を重視した地方統治
開港場に直轄地統治機関を置く(府を設置)
→ 明治元年に新潟府設置
- ただし、現実の越後統治に適合しない政府の府県設置
越後府(民政局)⇔新潟府
- いったん越後府(水原県)による開港場統治
— 開港場管理が不備

4 県都新潟

①開港と新潟県の誕生

- 明治3年7月新潟県による開港場と北越後直轄地の統治の実現

⇒以後、越後・佐渡の統治の中心は新潟となる

明治6年 柏崎県合併

明治9年 相川県合併

明治19年 福島県東蒲原郡編入



4 県都新潟

②文明開化の町

- 明治5年新潟県令楠本正隆の着任

開港場新潟＝外国人に恥ずかしくない町づくり

「当港ハ北国第一之要地ニシテ開港場之一ニ備リ、内外人民輻湊致シ候ニ付、一同厚ク朝廷御交際之御趣意ヲ奉体シ、競テ開化之域ニ至ルヲ希望可致之处…」

- 文明開化 旧習否定・清潔・進取・経済近代化・西洋化
- 強権的強制的開化政策



4 県都新潟

③新潟町は新潟県の「城下町」—「県都新潟」

- 明治4年廃藩置県→新潟県を中核にした県の再編
 - ※城のない県庁所在地
- 維新政府による中央集権化
- 郡中改革によって町村の権限を縮小限定し、県に権限を集中

4 県都新潟

③新潟町は新潟県の「城下町」

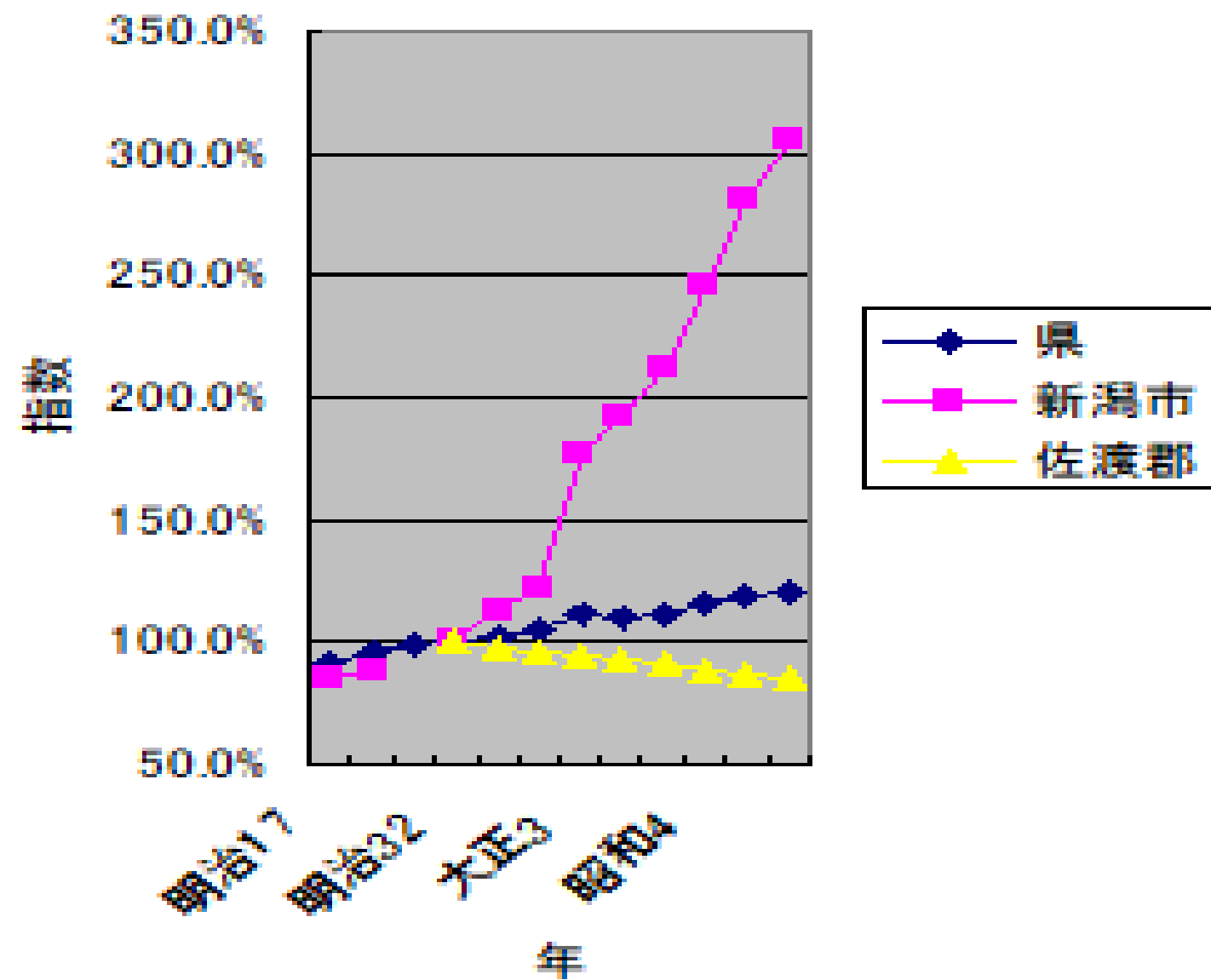
- 施設・組織の新潟への集中的設置
- 政治行政施設(県庁・県会議事堂)
- 教育文化施設(新潟学校・医学校・師範学校・新潟病院・白山公園・)の設置
- 企業(第四国立銀行・川汽船会社・内国通運会社・郵便局・新潟新聞社)の解説・勃興
- 社会文化活動の集中(結社・懇談会・政党・文化団体)
- 人口の集中



新鴻公園真景



人口動態（明治32を100として）



おわりに

- 江戸時代の分権的な幕藩体制の中で越後・佐渡の経済・流通上の拠点の一つであった新潟町は、開港場となったことから、中央集権国家のシステムの中で新潟県の政治・社会・文化・経済の集中的な極となり、新潟県内の地域編成の中核となっていく。